

簡略版審判講習 <審判の「動き」について> 京葉少年野球連盟 審判部 2021.04.27

[参照]

→ 京葉HP

「審判の基礎」 2020年審判講習会 4. 講習内容

→ 審判員講習会マニュアル 第5版 (2020.02)

https://www.baseballjapan.org/jpn/umpire/doc/shinpankosyu_m5.pdf

<球審>

□無走者、走者一塁：一塁／三塁をカバーする

→球審が三塁をカバーする場合は、一塁審は本塁をカバーする

□ライトゴロ：一塁ベース付近まであがり判定する

→打球、守備位置により一塁審に任せる等事前に打ち合わせる

□走者スコアリング・ポジション：本塁に留まる

<一塁>

□立ち位置：一塁走者なし 例) 一塁手 3～4m後方

一塁走者あり 牽制球に対応出来る位置

*一塁手が前進守備をしても、ベース付近の打球判定に影響がないようにベースから5～6m離れる

□内野ゴロ：野手からの送球に対し角度はおおよそ90°をとる

□ライトゴロ：打者走者とライトからの送球が視野に入る位置で判定する

→打球、守備位置により球審に任せる等事前に打ち合わせる

□本塁／二塁のカバー：打者走者の一塁触塁も確認する

<二塁>

□立ち位置：1) 走者なし、走者単独三塁は外野に位置する

2) 走者一塁、二塁、一二塁、一三塁、二三塁、満塁は内野に位置する

例) 二塁ベースから4～5 m (三塁コーチスボックスの本塁側のラインが目安)、
一二塁間のベースラインより1 m前 打者に対して正対する

□一塁／三塁のカバー：一塁審、三塁審が飛球を追う場合、一塁／三塁でのプレイは二塁審が判定する

<三塁>

□立ち位置：三塁走者なし 例) 三塁手 3～4 m後方

二塁走者あり 二塁走者の盗塁に対応出来る位置

三塁走者あり 牽制球に対応出来る位置

*三塁手が前進守備をしても、ベース付近の打球判定に影響がないようにベースから5～6 m 離れる

□三塁走者のタッグアップ：捕球する野手の位置と三塁走者を結ぶ延長線上 (双方が視野に入る位置) で判定する 例) 三塁コーチャーボックス付近

<その他>

試合開始前の4審での打ち合わせ

□責任審判とグラウンドルールを確認する

□外野2、3分割、ライトゴロの対応を確認する

□Lookのタイミングを確認する (スタンディングセット、ハンズオンニーズセットポジションを確認する)

□4審同士のサインを確認する 例) インフィールドフライ

□各イニングでの選手追い出し、投手板掃きを確認する